

## 「子ども社会研究」にかかわる若手研究者の交流会（ご案内）

日本子ども社会学会事務局

日本子ども社会学会第26回大会（於：東京成徳大学）の前日、主に若手研究者を対象とした研究交流会を開催いたします。はじめての企画となる今回は「子ども社会研究の『学際性』から研究テーマを掘り下げる」と題し、話題提供者と参加者相互の意見交換を行います。

学会紀要15号の記念企画「子ども社会研究の課題と展望—学際性を求めて—」から10年が経ちました。しかしながら、“学際性”が強調されても、具体的にどのような研究や議論をイメージできるのかについて、議論が進展したとはいいづらい状況にあります。また、学問分野の蝸壺化を考えれば、他分野との関係から自分野の強みをどう研ぎ澄ませるかということも、いまや無視できない課題であるといえます。

そこで、この交流会では、各自の研究テーマで他分野とどのような議論ができそうか、そのうえで、自分野が探究すべき固有の研究課題は何かということについて、参加者相互の交流を中心に考えてみたいと思います。この会を通じて、確固としたオリジナリティを備えつつも、他分野にひらかれた研究を進めるきっかけを見つけていただければ幸いです。

会員に限らず、関心のある方はお気軽にご参加ください。

\* \* \*

日 時：2019年6月28日（金） 16:30～18:30

場 所：東京成徳大学 東京キャンパス（十条） 6号館2階6206教室

テーマ：子ども社会研究の「学際性」から研究テーマを掘り下げる

対 象：「子ども社会」に関心のある若手研究者（非会員や自称若手等の方、大歓迎）

参加費：無料

話題提供者：松浦加奈子（一橋大学大学院：発達障害の教育社会学）

宮本雄太（東京大学大学院：幼児教育の学際的研究）

宇治和子（常磐大学：母子関係の臨床心理学）

林明子（大妻女子大学：貧困世帯の子ども）

司会者：梅田崇広（広島大学大学院：学級のフィールドワーク）

内容（予定）：話題提供者による報告（15分×4名）

フロアとの意見交換（15分）

いくつかのテーブルに別れて意見交換（30分）

※ 19時頃から会場周辺で懇親会を予定しています（参加費は実費必要）。参加予定の方は、人数把握のため、学会事務局の問い合わせフォーム（<http://www.js-cs.jp/office/>）より事前にご連絡いただけますと幸いです。**題名は「若手研究者交流会への参加」とし、本文には「子社太郎：交流会と懇親会の両方に参加します。」等のご予定をご記入ください。**ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ 『子ども社会研究』15号記念企画論文を事前に読むことを推奨します。学会ウェブサイトよりダウンロード可能です。[http://www.js-cs.jp/jscs\\_news/journal/vol\\_15/](http://www.js-cs.jp/jscs_news/journal/vol_15/)